

中国文化と琉球社会

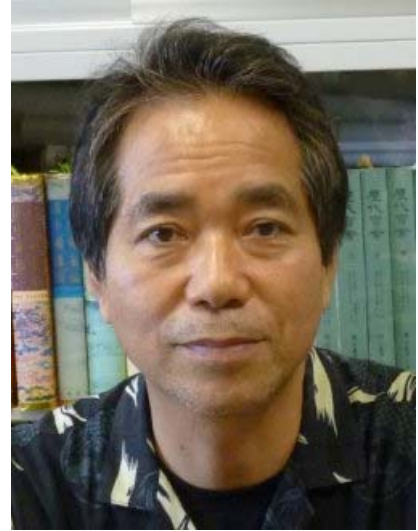
赤嶺 守 (あかみね まもる)

琉球大学 法文学部国際言語文化学科、国際沖縄研究所 教授

1953年 那覇市生まれ。

明治大学卒業後、台湾大学大学院博士課程修了。文学博士。

専攻は中琉関係史。



主要著書・論文：「清朝の対日琉球帰属問題交渉と脱清人」（1995 豊見山和行編『清代中国の諸問題』山川出版社）、「清代の琉球漂流民送還体制について：乾隆25年の山陽西表船の漂着事例を中心に」（1999『東洋史研究』58(3)）、「王国の消滅と沖縄の近代」（2003 豊見山和行編『琉球・沖縄史の世界』吉川弘文館）、「琉球王国：東アジアのコーナーストーン」（2004 講談社）、「中国と琉球：人の移動を探る：明清時代を中心としたデータの構築と研究」（2013 赤嶺守、朱徳蘭、謝必震編 彩流社）